

# 音楽科部会

**研究主題** 豊かな感性をもち、喜んで音楽活動に取り組もうとする  
子どもを育てる指導

## 1 主題について

今年度は、昨年度の課題であった「思いや意図をもち創意工夫して音楽表現させるための手立て」について更に研究を深めたいと考え、「音づくり」の授業について研修した。

## 2 今年度の取組

月 日	実践内容	月 日	実践内容
4月11日	第1回総合研究会 研究主題設定・年間計画作成	10月30日	第2回総合研究会 授業研究会（南小学校）
8月20日	指導案検討会（南小学校）	11月7日	授業交流会（西館小学校） （全県音楽研究大会）

## 3 研究内容

### (1) 授業研究

- ・期 日 平成26年10月30日（木）
- ・会 場 南小学校
- ・題材名 1年「いろいろなおとにしたしもう」
- ・授業者 細田 美和子

#### ① 授業者から

- ・効果的なグループ活動のさせ方はどうあればよいか。
- ・授業の前に星空の画像を見せた。きれいなイメージをもって活動に入ることができた。前時の終わりに「初めは強く、だんだん弱く」「消えていくように、ウン（休符）を多く」などのキーワードが出ていた。
- ・聴き合わせる時間をもっと取りたかった。
- ・導入はいつもはリズム遊びだが、今日は楽器の鳴らし方が大事と考えて、強弱の工夫などを入れてみた。

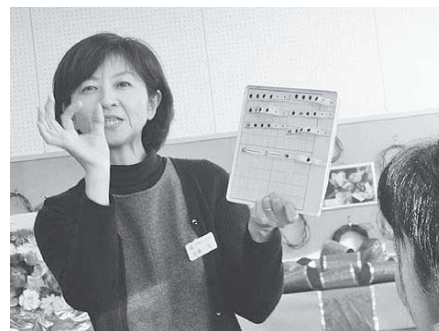


【星空をイメージした音づくり】

#### ② 協議

- ・楽器を赤ちゃんにたとえたり、音の設計図の星の大きさを強弱を表したりしていた。
- ・拍を意識して音を合わせていた。
- ・聴き合って話し合いながら、音を変えているグループがあった。
- ・活動の進め方が明示され、小さいステップで音楽づくりがされていた。
- ・歌の扱い方は、どうすればよかったか。
- ・全部のグループの発表タイムがほしかった。導入を簡略にすればできたのではないか。
- ・本時は音楽づくりア「音遊び」である。もっと自由な発想で活動させたい。
- ・アドバイスカードもよいが、演奏した子から思いや意図を話させたかった。
- ・グループより個人がよかったのではないか。絵を一人1枚担当してつなげる方法もある。

- (2) テーマ研究《各学校の発表》
- ・4年生の実践より。おはやしの旋律づくりやリコーダーがんばりカードの活用の紹介。
  - ・1年生、初めての鑑賞の授業について。
  - ・音楽室の環境構成の工夫。
  - ・特別支援学級の音楽療法の紹介。
  - ・低学年の器楽の指導の紹介。手作りのリズムを加えた器楽にチャレンジ。全県音楽研究大会で授業予定。
- (3) 指導助言(北教育事務所鹿角出張所 指導主事 田中 覚)



【低学年の器楽の工夫】

## ① 成果

- ・子どもがよりよい表現を目指して1時間いっぱい意欲的に活動していた。一人一人の音楽にひたる時間が十分に確保されていた。
- ・教具等が適切に準備され効果的に活用されていた。きめ細やかな手立てが工夫されていた。
- ・学習形態が工夫されていた。ペアからグループへ広がる流れがよかった。
- ・試しながら音楽づくりができるようにしていた。これは音楽づくりの大事な視点である。試行錯誤を繰り返すことによって子どもの発想が広がっていた。「音の設計図」の活用も大変効果的であった。その都度修正できる点がよかった。
- ・星の大きさや～の形で音の強弱や鳴らし方を示す工夫がなされ、絵譜が子どもには理解しやすかった。
- ・互いのよさを認め合う場の設定がなされていた。聴く視点が明確に示され、認め合う中で、新たなことに気付く場にもなった。
- ・教師の子どもへの支援や認めてほめる声かけがよかった。子どもが自分の学びを実感していた。この実感が次への意欲につながる。

## ② 授業改善

- ・指導事項を踏まえた、ねらい・学習活動・評価の整合を図ること。指導案では指導事項が音楽づくりイになっているが、本時は音楽づくりアの内容であった。音楽づくりイは、音楽の仕組みを生かすことが大切な視点になる。
- ・お話の内容からイメージしたことを基にして、音色と強弱を関わらせながら音楽づくりをさせたい。そのために、もう少し一人一人のお話のイメージが深まるようにしたい。拍や速さを決めずにもっと自由な発想でつくらせたい。
- ・発表のさせ方は、「きらきら星」を歌った後やお話を朗読した後のほうが、イメージを膨らませて発表できるのではないかと思う。イメージに基づいた音遊びなので配慮したい。

## 4 成果と課題

## (1) 成果

- ・教具の準備や学習形態の工夫など、学習意欲を高める手立てが充実していたことにより、子どもたちが試しながら音づくりの活動に向かうことができていたのは成果である。

## (2) 課題

- ・ねらいと学習活動と評価の整合を図ること。また、音楽づくりア「音遊び」ではイメージしたことを基に自由な発想でつくらせること。